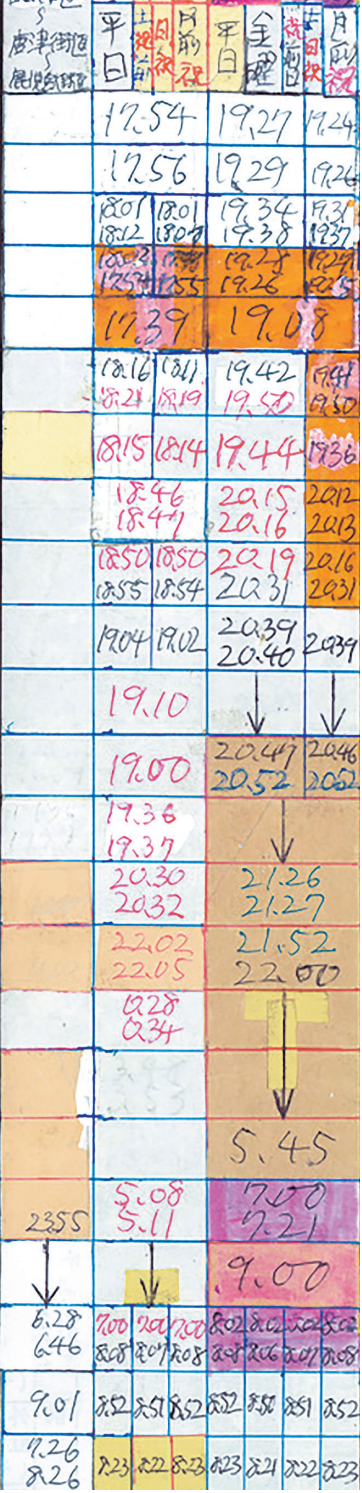
共生の芸術祭

ストップ・ヲォッチ

平成28(2016)年度
共生の芸術祭 展示記録

2016.12.13.-18.
2017.2.9.-16.
2017.3.8.-12.

平日	土休前	日祝	月前祝	平日	金土休前	日祝	月前祝	平日	金土休前	日祝	月前祝		中仙道 東海道	平日	土休前	日祝	月前祝	平日	金土休前	日祝	月前祝	平日	金土休前	日祝	月前祝
8				19.58								四条-120	21.17	5.36				8.28	8.55	8.28	7.48	7.52	7.48		
15				20.07								六条 山	21.45	5.44				8.26	8.52	8.26	7.46	7.50	7.46		
26 34	19.56	19.55		20.05	20.05 20.13							西 の京	9.38	5.37				8.21 8.19	8.47 8.44	8.21 8.19	7.41 7.39	7.45 7.39	7.41 7.39		
02 05	20.01 20.05	20.00 20.05		20.10 20.20 20.15	20.17 20.20 20.15			22.37 22.36	22.40 22.33			大寺	9.22					8.20 8.19 8.14	8.37 8.29	8.15 8.09 8.14	7.35 7.30	7.35 7.32	7.35 7.30		
3				19.56 19.50	20.04			22.26	22.30			平端						8.24	8.50	8.24	7.49 7.52				
2				19.38	19.40 19.56			22.07	22.13			福知山 (久美浜)						8.17 8.13	9.15	8.17 8.13	8.15	8.16	8.15		
37	20.00			20.10				2231	2228			近 奈良 (東面)						8.20	8.34	8.20	7.36	7.42	7.36		
18 25	20.05			20.43 20.44				23.06 23.07	23.09			宇治 (奈良) (京電) 円 (宇治)						7.47 7.46	8.06	7.47 7.46	7.00 7.59	7.03	7.00 7.59		
37 39	20.54 20.45			21.10 21.06 21.02				23.41 23.38 23.34				三条 (大阪) 京都 (宇治)						7.18 7.18 7.22	7.50 7.50 7.46	7.15 7.18 7.22	6.29 6.32 6.36	6.32 6.36	6.29 6.32 6.36		
59 58 26	20.38 20.35 20.48	20.38 20.36 20.48		20.56 20.50 21.07				23.28 23.16 23.22	23.29 23.18 23.37			京都(東)	10.12	5.45 5.37				7.28 7.24 7.30	7.50 7.50 7.51	7.28 7.24 7.30	6.41 6.51 6.47	6.44 6.54 6.47	6.41 6.51 6.47		
				20.34				23.45 0.19				新大阪						7.37	8.30	7.37	6.33 6.31				
	18.45			19.26								JR(国鉄)大阪		7.27				9.17	10.14	9.17	6.20 5.25				
	11.15											下関		14.36											
0	20.07			20.30				0.22				阪急(国鉄) 阪(地)	3.12.16	6.15				8.10	8.35	8.02					
	20.58 20.57			21.19 21.17								大 (阪急)		5.23 5.22				7.19	7.46 7.45	7.17					
3 3	21.15			21.22								草津		5.12 5.08				7.07 7.05	7.27 7.26	7.07 7.05					
48 53	21.56 21.57			21.50 22.05								米原	3.5.37 5.33	4.31 4.29				6.29 6.29	6.37 6.32	6.29 6.29					
2 6	22.33 22.34			22.31 22.48								大垣	3.3.16 3.10	3.49 3.48				5.53 5.51							
	22.46 22.49			22.58 22.59								JR 岐阜 (名鉄) 岐阜	3.1.46 1.43	3.24 3.23				5.43 5.41							
	23.21 23.32			23.18 23.20								名古屋 (名鉄) 名古屋	2.23.55 23.52	2.37 2.34				5.22 5.20							
	1.19 1.22			0.48 0.55								浜(濱)松	2.16.31	0.59 0.56				3.11 2.45			1.12 1.11				
	2.28 2.42			1.53 1.55			4.38 4.40					静岡		23.43 23.41				1.10 1.48			0.20 0.19				
	3.33 3.34			3.06 3.19			5.26 5.27					沼津		22.54 22.53				1.08 1.07			23.40 23.39				
	4.19 4.20											小田原		22.09 22.06				0.31 0.30							
7 1	5.16 5.17 7.00	5.16 5.17 7.00	5.16 5.17 7.00	6.44 6.45 7.00	6.44 6.45 7.00	6.44 6.45 7.00	6.57 7.00	6.51 7.05	6.51 7.00			横浜(京浜川崎)	2.3.32 1.23.12	21.56 21.54	21.56 21.54			22.32 22.30	22.32 22.30		22.24 22.22	22.24 22.22			
4	9.10	9.15	9.10	9.10	9.15	9.10	9.10	9.15	9.10			桜木町(横浜)	1.19.51	19.13	19.16			19.13	19.16		19.13	19.16			
5	9.37	9.42	9.37	9.37	9.42	9.37	9.37	9.42	9.37			横浜(東海道)	1.18.43	18.43	18.48			18.43	18.48		18.43	18.48			
45		5.30			4.57			7.09				品川	22.36	20.42				23.17			22.03				



中川 雅仁 ｜ 脳内旅行（部分）

contents

2 ごあいさつ
きょうと障害者文化芸術推進機構

5 展示記録

6 #1 澤田 真一
8 #2 中川 雅仁
10 #3 日下部美術教室
12 #4 下嶋 千佳
14 #5 酒井 美穂子
16 #6 ハーモニー／すまいるほーむ
18 #7 古久保 憲満
20 #8 甲谷 匡賛

23 関連イベント

29 開催概要

31 art space co-jin 展示･イベント記録

ごあいさつ

平成28（2016）年度、共生の芸術祭「ストップ・ウォッチ」開催にあたり、ご理解とご協力を賜りました皆様には厚く御礼申し上げます。

共生の芸術祭は、「共に生きること」をテーマに、障害のある方の創作や表現を紹介する展覧会です。3回目となる本展では、作品またはその作者から表出される「時間軸」に着目しました。

人類はいつ、時間の存在に気がついたのでしょうか。私たちの祖先は、はるか昔から時間を正確に計るために尽力してきました。今日の生活は分単位で正確に、細かに、区分されるようになりました。電車が時刻通りにやってくること、同じ曜日に店が開くこと、指定した時刻に荷物が届くこと、時間の正確さは便利な生活に欠かせないものです。

しかし一方で、体感する時間は各々に異なり、定められるものではありません。楽しいひとときは瞬く間に過ぎてしまい、辛く苦しい歳月は長く終わりのないように思えます。

本展では、普段過ごしている時間の感覚を離れ、会場を構成している麦畑に分け入り、一つ一つの展示がもつ「時間軸」に感覚を委ねてみる事を試みました。作品を作ることに要した時間や、表現としてあらわれるまでにかかる時間、そしてそれらを待つ時間の、重さ、速度、方向、あるいは滞留、邂逅、永遠の未来…。それぞれが異なった特徴や意味を持つことを、体感していただけたことと思います。

今後も多様な表現をご紹介し、魅力や可能性を感じていただく機会を設けてまいります。共生の芸術祭及び本機構の活動をご理解いただき、ご支援賜りますことをお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

きょうと障害者文化芸術推進機構

京都文化博物館会場／撮影 守屋友樹

けいはんなプラザ会場／撮影 守屋友樹

ストップ・ヲォッチ

展示記録

澤田 真一

中川 雅仁

日下部美術教室

下嶋 千佳

酒井 美穂子

ハーモニー／すまいるほーむ

古久保 憲満

甲谷 匡賛

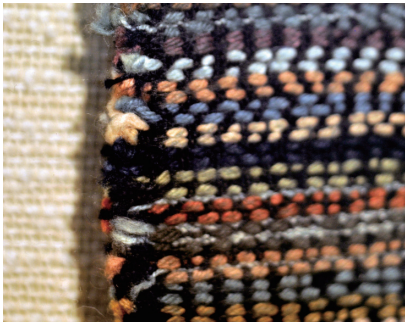
（敬称略）

澤田　真一
Shinichi Sawada

1982年生まれ。滋賀県在住。ヴェネチアビエンナーレ等、海外展にも数多く出展。社会福祉法人なかよし福祉会・栗東なかよし作業所に所属し作陶と並行して箱折りなどの軽作業を行っている。
幼少のころより手先が器用で、紙工作などを行う。陶芸を始めたころは、器や小さな置物などを制作していた。転機となったのは、工房の先輩にあたる国松弘さんとの出会いであった。ユーモラスな作品を作る国松さんと工房での時間を共にしていた澤田さんは、国松さんの作品の特徴であるトゲのような突起物や引っ掻き模様を自らの作品に踏襲していく。そのほか、当時の職員や周囲のメンバーの影響を受けながら、作風を獲得していったように思われる。
2011年11月から2012年4月にかけて、作業所への出勤を拒むようになるが、以降は以前のように出勤し作陶を続けてきた。
そして現在、およそ13年ぶりに、新メンバー紺谷彰男さんとの出会いによって、澤田さんの作品に転機が訪れている。

左から
無題 | 2013ごろ | 陶土 | 180×160×180
無題 | 2010ごろ | 陶土 | 110×130×405
無題 | 2010ごろ | 陶土 | 140×120×380
無題 | 2014ごろ | 陶土 | 140×120×345

撮影 Main cut:守屋友樹、Sub cut:スタッフ



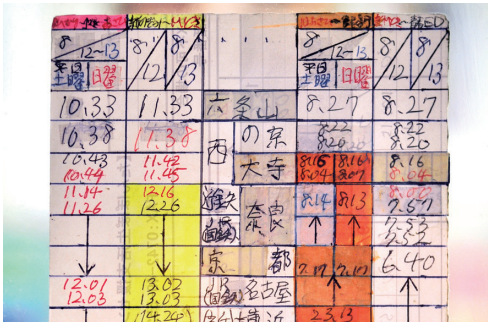
無題
2000ごろ ｜ 布、糸
435×355

中川　雅仁
Masahito Nakagawa

1971年生まれ。奈良県在住。小学2年生ごろから時刻表を組み合わせた旅行計画、通称「脳内旅行」の制作を開始。暇さえあれば、パソコンや時刻表を使いながら空想の旅に出る。地元での買い物や1泊の旅行、数ヶ月に及ぶ海外旅行…。パソコンを食い入るように見つめ、旅行会社のパンフレットを熟読し、実際に出かけるかのように綿密に旅行計画は立てられる。
時間が大幅に飛んでいる箇所は、展覧会を観る、カフェに行く、旅館に泊まるなど目的があるらしく、不自然に思える移動にも中川さんの楽しみが垣間見える。
手書きの時刻表は、決まって自宅や施設の最寄りの駅から始まる。奈良県内、大阪や京都、名古屋、東京、北海道。時には、パリ、ロンドン、ラスベガス…。
中川さんの想像力と情熱は、時間や場所をも悠々と飛び越えていく。

脳内旅行 ｜ 1978～2016 ｜ 紙、ペン ｜ サイズ可変

P.28 共生の芸術祭関連展示「ストップ・ウォッチ・ツーリズム」も併せてご覧ください。
撮影 Main cut:守屋友樹、Sub cut:スタッフ


10.33
11.33
六条山
8.27
8.27
10.38
11.38
西
の京
大寺
10.43
10.44
11.42
11.45
11.14
11.26
12.16
12.26
奈良
都
12.01
12.03
13.02
13.03
名古屋

脳内旅行（部分）

日下部美術教室

Kusakabebijyutsukyousitsu

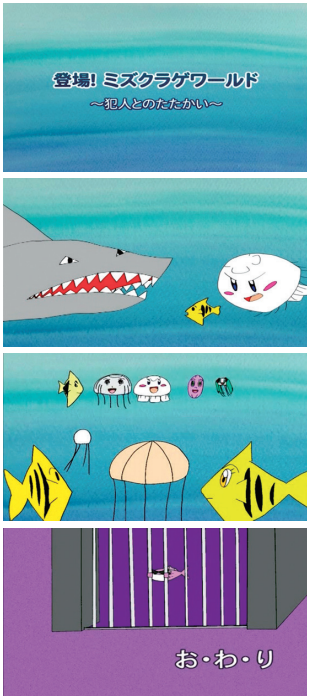
画家・日下部直起さん主宰。1985年創設。開設してすぐに障害のあるこどもの受け入れの相談があり、主に自閉症のこどもたちを対象としたプログラムを開始する。
日下部さんにとって障害のあるこどもたちと関わるのは初めての経験で、筆を持つ、キャンバスに向かう、色を置く…自身が絵を描く上で気にも留めていなかった概念は、次々に崩されていった。試行錯誤を繰り返しながら、絵の具を混ぜる感触を楽しむこどもには水彩よりも油彩を、几帳面な性格のこどもには繊細なモチーフを…画材やモチーフ選びから指導方法までを、個人に合わせて変化させてきた。
30年以上続く教室に、今では障害のあるメンバーが15名通う。本展ではそのうち13名の教室に通い始めた頃の作品と、最近の作品の2点を展示し、それぞれの軌跡に着目する。描くことの楽しみは美術の原点だと日下部さんは言う。今回展示した作品からは、人に評価されることを目的とせず、自由にのびのびと描くことを大いに味わい、楽しんでいる様子が伝わってくる。

日下部美術教室
個展DM

撮影 Main cut:守屋友樹、Sub cut:スタッフ

下嶋　千佳
Chika Shimojima

1992年アメリカ生まれ。3歳のころに帰国し、日本で育つ。再びアメリカに渡り、2年間作曲とジャズピアノを学ぶ。現在は、アトリエやっほぅ‼に所属し、主にコミックを制作している。講談社発行の月刊誌「なかよし」に投稿するなど、精力的に活動する。
脳内でオリジナルのストーリー「ポップンテニス」を展開しており、コミックのみにとどまらず、イラストレーションやテーマソング、衣装までも制作している。「ポップンテニス」のストーリーは、進んだり戻ったりを繰り返しながら、千佳さんの世界の密度を高めていく。
考えていることや感じていることを、いつもまっすぐ伝えることができる千佳さんにとって、制作行為も他者と関わる大切なツールである。



登場！ミズクラゲワールド ｜ 2010 ｜ DVD 4分6秒

千佳さん作曲「共生の芸術祭テーマソング」の試聴は
QRコードからアクセスできます。
（QRコードリーダーアプリが必要です）

P.25 共生の芸術祭関連イベント・音楽ライブも併せてご覧ください。
撮影 Main cut：スタッフ（上）、守屋友樹（下）

上　ポップンテニス｜2015｜画用紙、色鉛筆、ペン｜544×786
下左　ポップンテニス衣装（左からジェリー、ピーチ、デイジー）｜2016　　下右　ポップンテニスパネル｜2016

酒井　美穂子
Mihoko Sakai

滋賀県在住。元々は人が好きで明るい性格であったが、17歳のころのある出来事をきっかけに、現在にいたるまでの20年間、寝る時以外はほとんど「サッポロ一番しょうゆ味」を手放さずに過ごす。最近では1日に1つのラーメンが酒井さんの手の中でリズムを刻み、その弾かれるビニールの音は、規則正しく穏やかに、ときに激しく心情を表す。酒井さんが通うやまなみ工房では、所属する78名のメンバー一人ひとりのやりたいことを何よりも大切にしている。「ありのままで認められたい。」誰もが思うその気持ちを、酒井さんのふるまいから周囲が学んできたという。周りで何が起こっていても自分のやりたいことをずっと貫いている酒井さんは、やまなみ工房の象徴のような存在でもある。

サッポロ一番しょうゆ味·音響·写真 | 2016

撮影 Main cut:守屋友樹、Sub cut:スタッフ

サッポロ一番しょうゆ味
即席麺
各180×147×30

ハーモニー / すまいるほーむ

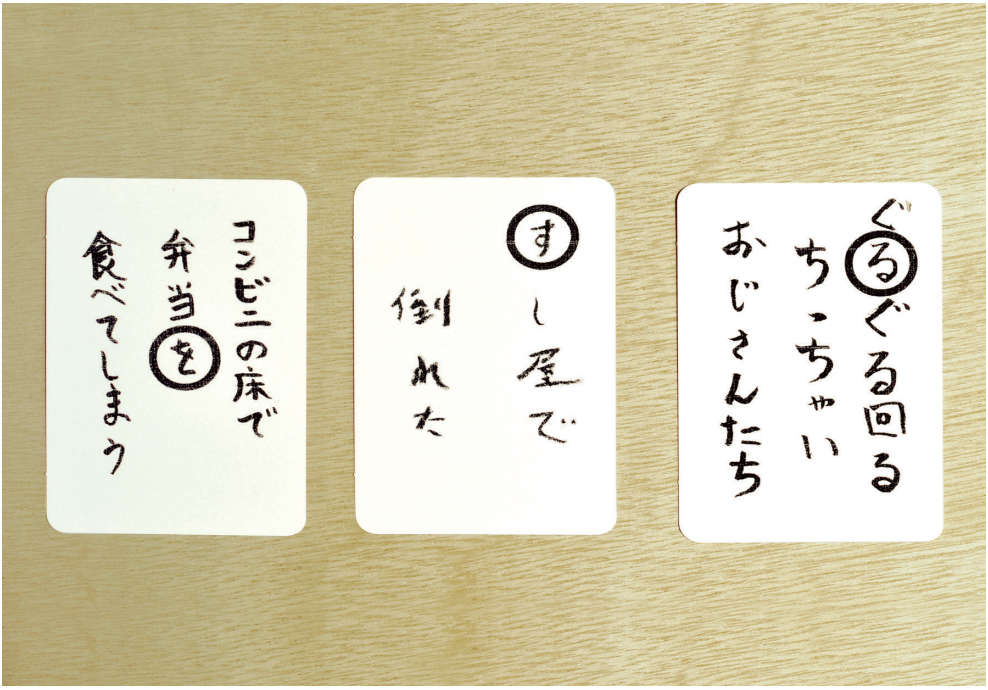
Harmony / Sumairuhome

東京都世田谷区にあるハーモニーは、精神に障害をもつ人の居場所であり、働く場所でもある。
ハーモニーでつくられた幻聴妄想かるたは、精神疾患の症状である幻聴や妄想をユーモラスに語り合う場から生まれ、講演会のほか展覧会やワークショップを通じてその活動を各地で展開させている。これまでは語ることもタブーとされてきた幻聴や妄想を「かるた」にすることで、他者へ伝えられる形に昇華させてきた。
そうして広まった幻聴妄想かるたに触発され、高齢者デイサービス施設「すまいるほーむ」で「すまいるかるた」の取り組みが始まる。
民俗学者でもある職員が音頭を取り、スタッフ、利用者が共同して「聞き書き」の手法で読み札を作り、デイサービスの遊びとして、一人ひとりが昔の出来事を語る足がかりとして、自己紹介のきっかけとして、いなくなった人を思い出すツールとして、役立てられている。
2つのかるたに共通するのは、その場の空気や歴史を次から次へと受け継ぐ役割を果たしているということ。昔からある、ありふれた遊びの道具が、そこにあった場の存在を、今も確かに受け継いでいる。

幻聴妄想かるた／ハーモニー
2011 ｜ 96×68 92枚 ｜ 発行:医学書院

すまいるかるたお披露目会／すまいるほーむ
2016 ｜ DVD 4分19秒

P.24 共生の芸術祭関連･クロストークも併せてご覧ください。
撮影 ハーモニー:スタッフ、すまいるほーむ:守屋友樹



上　新･幻聴妄想かるた／ハーモニー ｜ 2014 ｜ 紙にプリント ｜ 89×59　92枚
下　すまいるかるた／すまいるほーむ ｜ 2016 ｜ 紙にプリント ｜ 100×148 100枚

古久保　憲満
Norimitsu Kokubo

1995年生まれ。滋賀県在住。鮮やかな画面に現れる都市、建築物、車、飛行機などのモチーフは、古久保さんが思い描く未来の世界の一端である。実存の建築物をインターネットで調べ、自らの記憶から掘り起こし、社会の状況や歴史も組み合わせながら空想の街はつくられる。
縦横無尽に描かれる街が、こんなにも生き生きと蠢くように感じられるのは、古久保さんの頭の中で、この街が明確に存在しているからだろう。
脳内より写し取られる画面から、どこまでも続いていく壮大な世界が見えてくる。

P.28 共生の芸術祭関連展示「ストップ・ウォッチ・ツーリズム」も併せてご覧ください。
撮影 Main cut:守屋友樹、Sub cut:スタッフ

かがやけ！現代の街（部分）
2013 ｜ 紙、ボールペン、色鉛筆
450×525

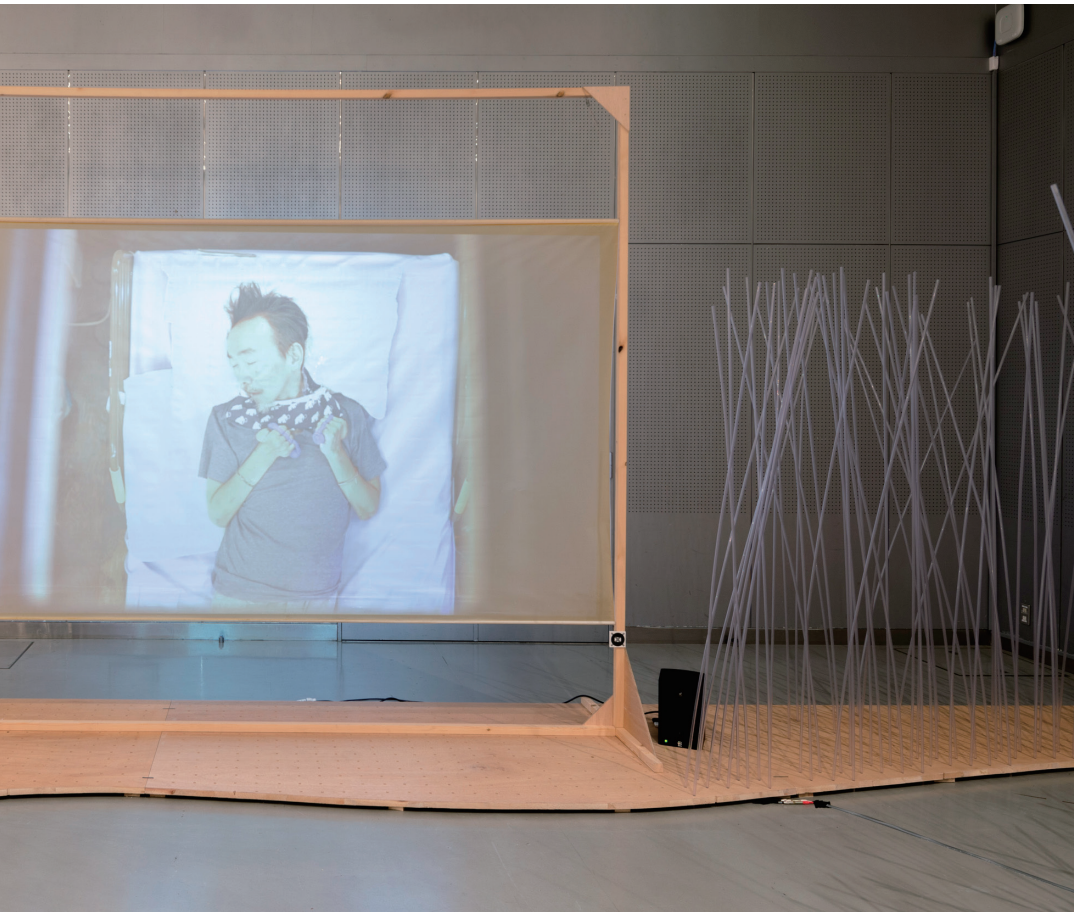
甲谷　匡賛
Masaaki Koutani

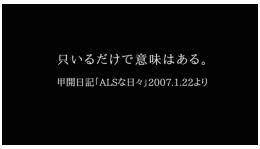
甲谷さんは自宅で生活をしている。
直接的な言葉ではなく、筋肉の動きや生活のリズム、喩えようのない感覚から、介護するヘルパーは彼の意思を汲み取っている。
ALSは進行し、甲谷さんは生活を他者に委ねていく。
自己と他者の境目はどこにあるのだろう。
甲谷さんとヘルパーの生活は、もはや密接に結びついて、分けることができない。

ALS（筋萎縮性側策硬化症）

全身の運動神経が機能しなくなっていく神経難病で、原因も治療法も不明。進行にともない、全身の自由がきかなくなり、次第に発話、食事、呼吸、まばたきさえも困難になっていくが、感覚や頭脳活動は保たれる。家族の重い介護負担や７割の人が人工呼吸器をつけずに亡くなるという現実の中で、終末期医療や安楽死の議論で度々その名が取り上げられる。

撮影 Main cut：守屋友樹





只いるだけで意味はある。 甲開日記「ALSな日々」2007.1.22より
2016 ｜14分19秒 ｜出演 甲谷匡賛、ヘルパー
映像コンセプト 由良部正美、志賀玲子（ALS-Dプロジェクト）
記録・編集 久保田テツ

市民交流プラザふくちやま会場／撮影 守屋友樹

ストップ・ヲォッチ

関連イベント

共生の芸術祭関連イベント

クロストーク

「タブーをかるたにしてみれば」

精神障害の人の幻聴や妄想をかるたにした「幻聴妄想かるた」。考案したのは就労継続B型事業所ハーモニー。幻聴や妄想を触れてはいけないマイナスのものとして捉えるのではなく、「笑える」「話のきっかけになる」と、プラスに考えていく新しいアプローチが話題を呼びました。 そして、高齢者のデイサービスで考案されたのが「すまいるかるた」。思い出や何でもないエピソードを、すまいるほーむの職員であり民俗学者でもある六車由実さんが聞き出し、札にしたためていきます。かるた大会では、札を取りながら昔話に花が咲き、話に熱中することも多いそう。新しく来た方、やめる方、亡くなった方…このかるたには、すまいるほーむの歴史も詰まっています。 共生の芸術祭「ストップ・ウォッチ」のコラボ展示にあわせ、場や思いを受け継いでいく2つのかるたのお話をうかがいました。

日時 2016年12月17日(土)
13:30開場
14:00-16:00

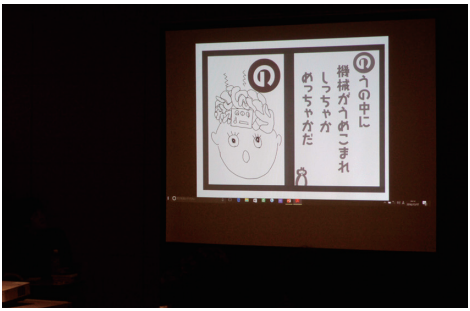
会場 京都市男女共同参画センターウィングス
京都2階 セミナー室B

ゲスト ハーモニー・新澤克憲
すまいるほーむ・六車由実

当イベントのトーク内容は、art space co-jin WEBサイトに掲載しております。併せてご覧ください。
http://co-jin.jp

六車由実さん

新澤克憲さん



共生の芸術祭関連イベント

音楽ライブ

下嶋千佳&大野綾子&勝方浩 LIVE

共生の芸術祭「ストップ・ウォッチ」の出展者である下嶋千佳さんの音楽ライブを開催しました。本展に合わせ「共生の芸術祭テーマソング」を作曲していただき、当ライブにて初披露。千佳さんのピアノの先生である大野綾子さんと、千佳さんとChi-Ka-Tsu名義でライブを共にしてきた勝方浩さんとの各デュオで、全12曲を生演奏。多数ご来場いただき、大盛況のイベントとなりました。

日時 2017年2月11日(土)
14:00-15:00

会場 けいはんなプラザ
イベントホール1

出演 下嶋千佳(ピアノ)
大野綾子(ピアノ)
勝方 浩(ウッドベース)

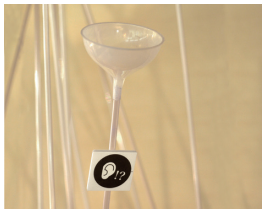
「共生の芸術祭テーマソング」は、P.12に掲載のQRコードから、試聴サイトにアクセスできます。

共生の芸術祭

展覧会ダイジェスト
アンケート

時間に対する概念を改めて考えさせられました。生きる（人生）時間のとらえ方も大きく変わってくると思います。それぞれの作品から5次元（3次元＋時＋魂）の世界を見せて頂いた思いです。

（宇治市/70代）



共生の芸術祭

オープニング

日時・会場

2016年12月13日（火）10:00
京都文化博物館5階

---

co-jinスタッフによる

ギャラリーツアー

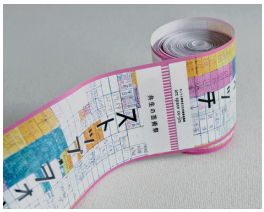
日時・会場

2016年12月16日（金）
京都文化博物館

2017年2月10日（金）
けいはんなプラザ

2017年3月10日（金）
市民交流プラザふくちやま

各日13:30-14:30



皆さんひとりひとりの思いが伝わってきそうな作品ばかりでとても感動しました。作品を作り上げるというより、その人の思いをキャンバスにぶつけられている様に見えました。集中力のすごさにビックリです。

（右京区/50代/主婦）

日々、何かを表現しつづけるということの中でも、様々な時間の流れ、時間の表し方があるんだなと、改めて考えるきっかけになる展示でした。

（左京区/30代/行政関係）

作品の完成度がすごいと思いました。発想もおもしろいです。笑いがこみあげてくるようなリラックスして楽しませてもらいました。言葉ではうまく表せないけど、HAPPYな気持ちありがとうございました。福知山でこういったイベントがなかったので今後もいろいろな方の作品を展示してほしいです。
（福知山市/40代/会社員）

一人一人の個性をとても大切にされていて、皆生命力に満ちあふれていた。看護師として病のある人と関わっているが、忙し過ぎて患者の個性を充分に活かすことができていないと反省した。もっと一人一人の個性を見つめて関われたら、人間はこんなにも輝くんだということに気付かされた展示でした。
（中京区/30代/医療関係）

もうすこし全体のテーマが通底して感じられたらいいなと思いました。
（30代／福知山市／アート関係）

自分の見ている世界と他の人の見ている世界がどんな風に違っていて、どんな風に似ているのか。その違いを見てみたいという感覚が、創作行為にはとても大切なんじゃないかなと思わされました。
（兵庫県/30代/アート関係）

大変独創的なアート（作品）に引き込まれました。作者に会って、話を聴きたいです。人間が「表現」することを、強く願っていること。人が生きることは「表現する」ことであると、深く認識しました。
（伏見区/60代/教育関係）

共生の芸術祭関連

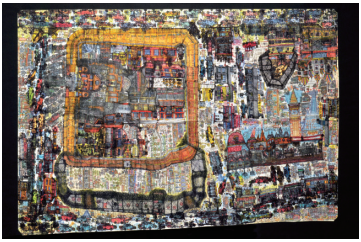
art space co-jin 展示

古久保憲満･中川雅仁 二人展
「ストップ･ウォッチ･ツーリズム」

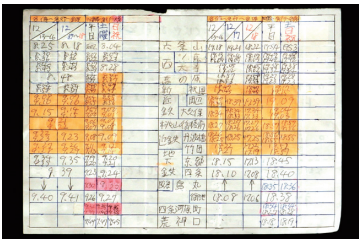
共生の芸術祭「ストップ・ウォッチ」の出展者の中から、「旅」をテーマに古久保憲満さんと中川雅仁さんの二人展をart space co-jinで開催。時間だけではなく空間をも飛び越えていく想像の世界を展示しました。

日時　2017年2月4日(土)-3月26日(日)　※月曜定休
10:00-18:00

会場　art space co-jin



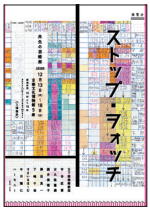
上　無題 | 制作年不詳 | 古久保憲満
下　スケッチブック | 制作年不詳 | 古久保憲満



上　ウォール街の女 | 2006 | 中川雅仁
下　脳内旅行 描き下ろしver. | 2017 | 中川雅仁

開催概要

共生の芸術祭
「ストップ・ウォッチ」



展覧会　**京都文化博物館 5階**（京都市）
2016年12月13日（木）－18日（日）｜ 10:00－18:00　最終日のみ17:00まで

巡回展　**けいはんなプラザ イベントホール1**（精華町）
2017年2月9日（木）－16日（木）｜ 10:00－17:00

市民交流プラザふくちやま 3階 市民交流スペース（福知山市）
2017年3月8日（水）-12日（日）｜ 10:00－18:00

各会場入場無料

関連イベント

－オープニング
12月13日（火）｜ 京都文化博物館

－関連クロストーク「タブーをかるたにしてみれば」
12月17日（土）｜ 京都市男女共同参画センターウィングス京都 2階 セミナー室B

－下嶋千佳&大野綾子&勝方浩 LIVE
2月11日（土）｜ けいはんなプラザ

－ギャラリーツアー
12月16日（金）、2月10日（金）、3月10日（金）｜ 各展示会場

関連展示　古久保憲満・中川雅仁 二人展「ストップ・ウォッチ・ツーリズム」
2017年2月4日（土）－3月26日（日）｜ art space co-jin

展示協力　ALS-Dプロジェクト、京都市ふしみ学園 アトリエやっほぅ!!、日下部美術教室、久保田テツ、古久保満、社会福祉法人なかよし福祉会、社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房、特定非営利活動法人やっとこ、有限会社ユニット、社会福祉法人わたぼうしの会 たんぽぽの家 アートセンターHANA　（五十音順）

会場構成・設営・ビジュアルデザイン　dot architects

撮影　守屋友樹、当機構スタッフ

企画・主催　きょうと障害者文化芸術推進機構 事務局

構成団体　独立行政法人国立美術館京都国立近代美術館、独立行政法人国立文化財機構京都国立博物館、公益財団法人京都文化財団、京都市美術館、みずのき美術館、公益財団法人京都市芸術文化協会、公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、一般社団法人京都府身体障害者団体連合会、京都知的障害者福祉施設協議会、京都障害児者親の会協議会、一般社団法人京都手をつなぐ育成会、公益社団法人京都精神保健福祉推進家族会連合会、特別支援学校長会、公益財団法人大学コンソーシアム京都、京都商工会議所、京都新聞社、公益財団法人京都新聞社会福祉事業団、NHK京都放送局、KBS京都、京都府、京都市、京都府市長会、京都府町村会

Special thanks
新澤克憲、六車由実、大野綾子、勝方浩、下嶋篤、小田嶋裕太、山本憲孝、牛山澄子、若林桜子、長谷川葉月、井上陽子、熊越浩平、蟹谷友架、仲瀬未来、伊東麻弥、藤田史郎、中山須美子、岡晃弘、新井厚子、大槻文代、水谷淑子、水田ウタコ、城岸美稀、飯室優子、濱風アート　and more…　（順不同・敬称略）

art space co-jin／撮影 表恒匡

art space co-jin

展示・イベント記録

art space co-jin

展示・イベント記録

2016.04－2017.03

きょうと障害者文化芸術推進機構では、「共生の芸術祭」開催のほか、障害のある人の作品や表現に出会える場としてart space co-jin（アートスペースコージン）を運営しています。
art space co-jinでは、絵画、写真、陶芸、インスタレーションといった様々な作品を展示するギャラリーとしての機能を中心に、イベント、ワークショップ、講座など、誰もが交流できる機会を創出しています。平成28（2016）年度は、企画展と各展示に合わせたイベントやワークショップを開催いたしました。今後も新たな企画を展開してまいりますので、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

art space co-jin

（きょうと障害者文化芸術推進機構 事務局）

開廊時間　10:00-18:00 月曜定休

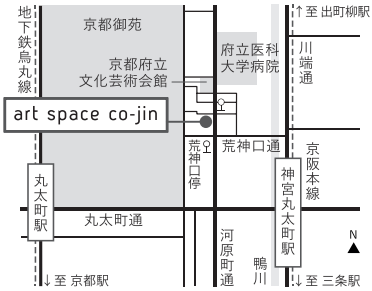
※1週間ほど展示替え期間を設ける場合がございます。
ただし展示替え期間中も事務局は運営しております。

所在地　〒602-0853
京都市上京区河原町通荒神口上ル宮垣町83 レ･フレール1階

アクセス　京都市バス「荒神口」停から徒歩1分、
または京阪神宮丸太町駅から徒歩12分

※お車をご利用の場合、駐車場はございません。
近隣の有料パーキングをご利用ください。

お問い合わせ
TEL/FAX　050-1110-7655
MAIL　info@co-jin.jp
WEB　http://co-jin.jp
Facebook　https://www.facebook.com/artspacecojin/
Twitter　https://twitter.com/cojin_info



2016年4月6日(水)–5月8日(日)

Co-jin Collection –コジコレ–

2015年に開催された「京都とっておきの芸術祭」より、
「肖像」をテーマに選出した14作品を展示。
「京都とっておきの芸術祭」の出展作品のスライドショーも同時上映。

2016年5月13日(金)–6月5日(日)

なづな学園展 はなのななあに

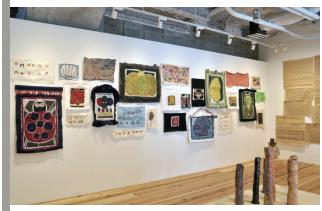
昭和33年から障害のある女性の居場所を提供してきたなづな学園。
可愛らしくも凛とした強さを感じさせる作品の中から、絵、陶器、手芸品を紹介。

＜関連企画＞
・ワークショップ「オリジナルエコバッグをつくろう！」5月14日(土)
・トークイベント「おはなししましょ」5月27日(金)
※同日販売会も開催

2016年6月10日(金)–7月10日(日)

米田祐二展

2009年「京都とっておきの芸術祭」に初出展し受賞後、
活躍の幅を広げている米田祐二の写真展。



2016年7月15日(金)–8月21日(日)

nu-tang

舞鶴にある障害福祉施設・みずなぎ鹿原学園の創作活動から、
みずなぎ刺繍製品ブランドnu-tan(ヌータン)の他、陶芸、絵画を展示。

＜関連企画＞
・ギャラリートーク＆ワークショップ「nu-tanと撮ったん」
7月29日(金)・8月21日(日)※同日販売会も開催

2016年8月26日(金)–9月25日(日)

Co-jin Collection No.2 –コジコレ2–

2015年に開催された「京都とっておきの芸術祭」から
「生きもの」をテーマに20作品を展示。

＜関連企画＞
・とっておきの芸術祭プレ企画 額装＆梱包講座
9月2日(金)・16日(金)

2016年9月30日(金)–10月30日(日)

木村全彦展 CUNEI CUNEI

ふしみ学園・アトリエやっほぅ !! 所属作家、木村全彦の初個展。

＜関連企画＞
・ワークショップ「キュニコピー」10月1日(土)
・トークイベント 10月22日(土)
松井智惠(アーティスト)、中島慎也(アトリエやっほぅ !! 支援員)ほか
・あうる京北・森の芸術祭巡回展 11月19日(土)-27日(日)

2016年11月3日(木)–12月25日(日)

福村惣太夫・山内庸資 二人展「ストローク」

みずのき美術館企画制作による、福村惣太夫と山内庸資の二人展。

＜関連企画＞
・ギャラリートーク 11月5日(土)
山内庸資、奥山理子(みずのき美術館キュレーター)
※京都府アールブリュッ都ギャラリー事業

2016年12月1日(木)- 12月4日(日)

「京都とっておきの芸術祭」出展作品ポスター展

「京都とっておきの芸術祭」の関連企画として、
ロームシアター京都のプロムナードにてバナーポスター展を開催。

2017年1月7日(土)・1月8日(日)

co-jinの森をつくろう！そして、その中で、うごいてみませんか？

Dance&People企画制作による、見えない人と見える人が
一緒につくる、空間インスタレーションとパフォーマンス。

[ワークショップナビゲーター]
光島貴之(美術家・鍼灸師)、五島智子(ワークショップ企画者)
[パフォーマンス出演]光島貴之、黒子沙菜恵(ダンサー)ほか
※きょうと障害者文化芸術推進機構共催イベント

2017年1月14日(土)–1月29日(日)

平成28年 京都とっておきの芸術祭 受賞作品展

2016年12月に開催された「京都とっておきの芸術祭」の受賞作品から、
京都府知事賞、京都市長賞、実行委員会会長賞を展示。

2017年2月4日(土)–3月26日(日)

古久保憲満・中川雅仁 二人展
ストップ・ウォッチ・ツーリズム

共生の芸術祭「ストップ・ウォッチ」の出展者の中から、
「旅」をテーマに古久保憲満と中川雅仁の作品を展示。

平成28(2016)年度

co-jinサポーター募集＆講座

co-jinの活動をお手伝いしてくださる方を募集。サポーター募集にあわせて講座と事例紹介トークを開催しました。

2016年8月31日(水)
講座１ **これまでとこれから ～障害のある方の文化芸術活動への取り組み～**
講師：山下里加(アートジャーナリスト・京都造形芸術大学アートプロデュース学科准教授)

2016年9月7日(水)
講座２ **「わたし」からみえるもの ～作品への目線の向け方、記事の書き方～**
講師：松尾恵(ギャラリスト・MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w)

2016年9月13日(火)
事例紹介 **「展覧会」のつくりかた ～展示する場所・もの・ひと～**
講師：家成俊勝(dot architects・京都造形芸術大学空間演出デザイン学科准教授)

2016年12月9日(金)
事例紹介 **作品をのこす、記憶をきざむ ～みずのき美術館のアーカイブプロジェクト～**
講師：奥山理子(みずのき美術館キュレーター)

実習 **障害福祉施設の取材に挑戦！**
全講座終了後、実習として２つの福祉施設に訪問。

平成29(2017)年度のサポーター募集＆講座については、詳細が決まり次第WEBサイトにて告知いたします。

撮影 P.32 表恒匡、P.33-35 スタッフ

平成28(2016)年度

共生の芸術祭
「ストップ・ウォッチ」

展示記録

発行　きょうと障害者文化芸術推進機構
編集　きょうと障害者文化芸術推進機構 事務局
デザイン　久須美雅代
印刷　株式会社グラフィック
2017年3月31日発行
お問い合わせ　art space co-jin(アートスペースコージン)
きょうと障害者文化芸術推進機構
〒602-0853
京都市上京区河原町通荒神口上ル宮垣町83 レ・フレール1F
TEL/FAX　050-1110-7655
MAIL　info@co-jin.jp
WEB　http://co-jin.jp

※本書に掲載されている作品の著作権は作者に帰属します。一切の複製・無断転載を禁じます。

月前	平日	全
828	248	75
826	246	2
824 817	244 239	7
815 807 814	235 230	8 7
819		7 7
817 813	215	8
820	736	7
799 796	700 259	70
715 258 252	257 252 236	6 6 6
723 736	641 635 642	6 6 6
757	6 6	
917	6 5	
↑		
802		
717		
707 705		
629 627		
	1 1 1 1	
	0 0 0 0	
	23 23 23 23	
234 233 229	2224 2220 2212	
216	1913	
248	1843	
7 7	2 2 2 2	
805 257	2156 2148	